



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 高田欽也・金子健史・高永博夫
 永井正樹・大高正壽
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

2008年を迎えて

地球の夜明け・・・STS-068・エンデバー

会員の皆様には、ご家族共々輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様の温かいご支援とご協力をいただき、昨年も予定された事業計画を着実に執行できましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

今年度は、一昨年 5 月国会で可決成立した公益社団法人取得を目指して取り組んでいかなければなりません。法律施行後の 5 年の猶予期間は決して長いものではなく、公益法人取得に向けた定款の検討と関連する規程の整備、公益事業計画を明確にし、会員の皆様に提示してご理解とご協力を賜りたく思います。

日臨技はこれまでも公益社団法人として多くの事業を通して国民の公衆衛生の向上と、活動してまいりましたが、改正された法律はこれまで以上に公益事業の予算配分等のハードルが高く、容易ではありませんが、諸先輩が育ててきた組織の拡大と更なる発展に全力を注いでまいりたいと存じます。



一昨年より日臨技が独自に取り組んでまいりました、一般検査の認定制度の構築も会員の皆様のご支援とご協力によりスタートし、既に 150 名を超える認定一般検査技師会員が誕生しました。一般検査は医学的に重要な臨床検査にも関わらず、学会での位置付けが不明確で、一般検査の業務範囲も広く設定されていましたが、本認定制度がスタートしたことにより、認定一般技師の活躍の場と技量が問われる時代に突入いたしました。認定輸血検査技師は 1200 人を超え、それぞれの医療機関において輸血業務の一元管理と責任ある仕事を期待されていることから、認定一般検査技師にも認定輸血技師同様に責任ある認定技師に今後を託したいと存じます。全ての認定制度のベースは、日臨技生涯教育履修制度を修了した者が対象になっていますが、日頃の教育研修の成果を認定技師制度に結びつけ、更なる技術向上に繋げていただきたいと思います。

第 57 回全国医学検査学会を社団法人北海道臨床検査技師会担当で、例年より時期が遅い 5 月 30、31 日に札幌市で開催を予定しています。この時期の札幌は気候も良く、北の大地で勉強に励んでいただきたいと思います。併せて日韓協定を 30 年前に結んだ札幌市で記念式典を予定しています。日韓が北アジアの臨床検査の牽引国としてお互いに協力して、アジア、アセアンの臨床検査の発展に寄与できる企画を予定しています。是非ご参加いただき、諸先輩が築き上げた友好の輪を広げていただきたいと思います。

今年の子年で干支の初めの歳であり、昔から子は子宝に沢山恵まれことや、大黒天の使いなど縁起が良いとされ、東京ディズニーランドの人気者、ミッキーマウスが幸せを運んでくることを期待しています。

今年も昨年同様、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様のご健康と益々のご繁栄を祈念申し上げ、念頭の挨拶とさせていただきます。

平成 20 年 元旦 (社) 日本臨床衛生検査技師会会長 小崎 繁 昭

- P01: 2008 年を迎えて・・・小崎繁昭
- P02: 8 地区 joint FORUM 終わる！・ビッグイベント続く・・・
- P03: 同-2<地区開催報告-北海道・四国>・BS11 ニュース
- P04: 同-3<地区開催報告-中部・中国>
- P05: 同-4<地区開催報告-九州・関東甲信>
- P06: 同-5<地区開催報告-東北・近畿>
- P07: 地区学会便<関東甲信>・投稿<臨検小話>・原稿募集
- P08: 資料<文書化-第3回-「文書類の構成」>-1

- P09: 同-2
- P10: 同-3・ひとくち英会話
- P11: 地区短信<近畿>・Oh!脳・会費納入について
- P12: 国民の医療を守る決起大会・チョット気になるキーワード-1
- P13: 同-2・Oh!そうか・鳥に近づくな触るな！
- P14: 理事行動・編集室
- P15: 日臨技リンクス
- P16: 臨床検査技師賠償責任保険